

季刊紙

Vol.8

安川健人

Think Globally,
Act Locally

「地球規模で考え
地域から行動する」
横須賀から日本を変えていこう！



3月定例議会（2/13～3/24）を終えて 2025年度予算案が可決され、新年度のスタートです！

- ① 防災対策の強化：防災トイレトレーラー/ 防災キッチンカーの導入/
エコミル敷地内に防災備蓄基地を整備/ 大矢部みどりの公園の新規オープンに向けて（災害時に於ける物資配送拠点）
- ② 気候変動対策：熱中症予防対策システム導入/ 体育館空調設備の整備/ 農作物の高温対策/ 海の磯焼け対策/ ブルーカーボンの取組み
- ③ 上地市政の掲げてきた横須賀再興プランの総括・総仕上げへ：
海洋都市：浦賀駅前再開発「第二の開国」の実現へ
個性ある地域コミュニティ：月見台住宅の活用、追浜駅前、横須賀中央駅前、京急久里浜駅前の再開発促進
スポーツ・音楽・エンターテインメント： 様々なイベント開催
福祉の充実、「誰も一人にさせないまち」へ

安川健人（やすかわ けんと）

神奈川県 副代表
会派 日本維新の会 団長
環境教育常任委員会委員
スポーツ振興検討協議会委員
議会基本条例検証特別委員会委員
議会制度検討会議オブザーバー
浦賀在住 家族は妻と猫♀
明治大学大学院修了（公共政策修士）
元・鎌倉市議会議員 俳優/シェフ
愛車は Harley-Davidson ultra classic
趣味はボディビル、BBQ 料理研究

* 市役所前の時計塔が改修されます！ *

2年前の春、市議会議員になり横須賀市役所に通うようになって最初に気になったのが本庁舎前にある壊れて動かなくなった「大きなのっぽの古時計」でした。この時計塔は1985年に現在の市役所が建設された時、市民の方から寄贈された立派なからくり時計で、本庁舎とともに約40年間の歴史を歩んできました。しかし、2002年頃にはからくりの部分が修理できなくなり、15年には上部のアナログ時計も片面が止まり、針を外した状態のまま10年が経過していました。

実は、止まった時計は世界の多くの国で「不幸や災害を招く象徴」と云われています。

昨年度の総務常任委員会で質問し、「検討していく」との回答をいただきましたが、進展がなかったため、昨秋に来年度予算への会派要望の一つとして、「時計のデジタル化などを含めた早期改修」を市長に直接求めました。これに対し、上地市長からは「自分も市議になった当初から気になっていた」と共感いただき、前向きに検討するとご返答を頂きました。

そして、ついに2025年度予算に改修計画が盛り込まれ、夏頃には時計塔がリニューアルされることになりました。

新しい時計塔は、夜間や遠くからでも見やすい大型LEDデジタル時計になり、からくり人形は修繕されて展示される予定です。また、からくり時計のあったスペースには横須賀市の市章を取り入れたレリーフを設置し、新たな市のシンボルとして生まれ変わります。

横須賀市は、全国に先駆けてチャット GPT などの生成 AI を行政に活用し、業務の効率化を進めています。市民の皆さんにとって使いやすく、便利な行政を目指す「デジタルガバメント先進都市・横須賀」の新しいシンボルとして、この時計塔が市民の皆さんに親しまれることを期待しています。（左の写真は2025年3月現在の時計塔の前にて）

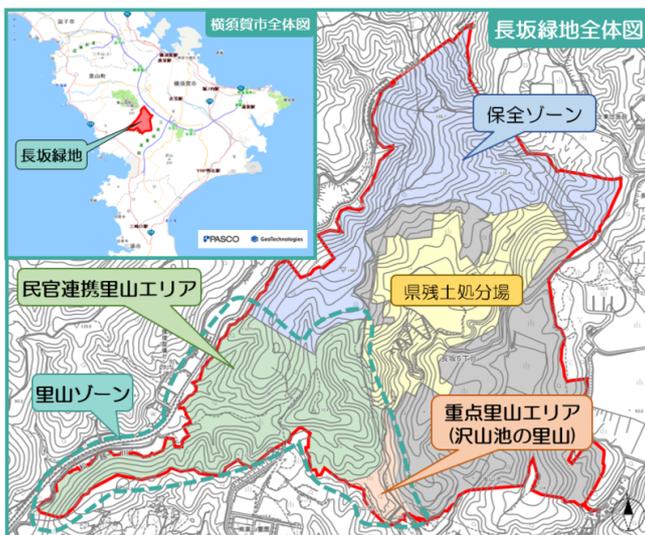


* 避難所の国際基準：スフィア基準（スフィア・スタンダード）をご存知ですか？

災害時の避難所という日本では「一時しのぎの場」として捉えがちですが、避難所生活が長引くことで、災害関連死が増えることが問題になっています。世界各地での紛争や災害の人道支援として国際赤十字とNGOグループらによって、**避難所でも尊厳ある生活を営むための最低基準を定めたものがスフィア基準**です。日本でもこの基準に少しでも近づけるように、国や自治体が推進しています。

災害大国のイタリアの例を挙げると、プライバシーの確保の為、家族ごとに10畳程度のテントと人数分の簡易ベッドが備えられる。トイレとシャワーがついたコンテナを設置。プロのシェフがボランティアでキッチンカーや調理用コンテナで料理を作り、出来たての温かい食事、デザートやワインも提供されて、食事を楽しむことができ、**心のケア**にも繋がっています。

* 三浦半島最大の自然公園『長坂緑地』今後の利活用について



長坂緑地をご存知ですか？2018年に西武鉄道より土地の寄付を受け、現在一部は「沢山池の里山」「民間連携里山エリア」として、水田再生や雑木林の管理、市民の自然体験活動が行われています。しかし約77ヘクタールの広大な敷地に手つかずの場所も多く残されており、三浦半島に残された大切な森を守るためにも今後の利活用が求められます。現地調査で長坂緑地を半日かけて一周しましたが「ガイドしてくれる人がいなければ帰ってこれないかも？」と不安になるぐらい深い森。高台の開けた場所からは相模湾の海を見渡すことができ、**山と海の自然の魅力**をたっぷり感じる事が出来る**横須賀市に残された貴重な財産**です。民間事業者との連携も含め、環境保全と地域活性化の両立を図る整備と利活用を会派として要望しました。

* 津久井浜にある重要文化財『万代会館』の維持管理について

明治から昭和期の銀行家として三井銀行、帝国銀行の会長を歴任し、母校の青山学院大学の理事長を務め、個人資産のほとんどを寄付された万台順四郎氏。横須賀市に建物と敷地、そして基金まで寄贈されましたが、現在建物の利用は休止されています。**茅葺き屋根の貴重な建物も修繕し、保全・活用が出来るように、民間事業者との連携も含めて、早急に推進していくこと**を環境教育委員会で要望しました。

* スポーツを核としたまちづくり 意見交換会 4月19日に開催

横須賀市議会では私もスポーツ振興検討協議会の委員として、仮)横須賀市スポーツ振興条例の制定に向けて協議をしています。「**スポーツを核としたまちづくり**」について、**市民の声を聞かせて頂く為**に意見交換会を開催いたします。みなさまのお越しをお待ちしています！

4月19日(土) 10時～12時 場所は生涯学習センター2階市民ホールで、参加費は無料

編集後記 ～2027年NHK大河ドラマ『逆賊の幕臣』～

日本の近代化と横須賀市の発展の礎を築いた横須賀製鉄所(のちに横須賀造船所に改名、現在の米国海軍基地)の建設に尽力した**小栗上野介忠順の生涯**が大河ドラマになります。

勝海舟のライバルとも言われ、作家・司馬遼太郎が「明治国家の父」と呼んだ人物。歴史の教科書にはほとんど載っていませんが、横須賀製鉄所のほかにも、鉄道建設、国立銀行、郵便制度、郡県制度の創設や株式会社なども発案。明治政府の近代化政策は「そっくり小栗の模倣だ」と大隈重信も語っています。

のちに東郷平八郎は「日露戦争の日本海海戦でロシア艦隊に勝利できたのも小栗公が横須賀造船所を作り近代化を進めたお陰である」と感謝の言葉を遺族に残しています。

幕末に幕府の命運を一身に背負ったような天才が、後世に名前が残っていないのは、明治新政府に歴史の闇に葬られたから… 2027年は小栗公生誕200周年、横須賀が全国から脚光を浴びる大きなチャンスになりそうです。



ヴェルニー公園内にある
小栗上野介忠順像

